

県北健康福祉センター 感染症情報

2018/19 シーズン
ノロウイルス感染対策特集号

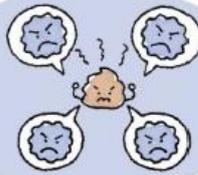


感染性胃腸炎の原因はいくつかありますが、冬季においてはノロウイルスによるものが多くを占めています。集団感染に至る理由には、「1例目がノロウイルスによるものだと思っていない」が多いといわれています。

集団感染を防ぐために！ 施設におけるノロウイルス対策



10億個(10^9 /g)のノロウイルスの量とは

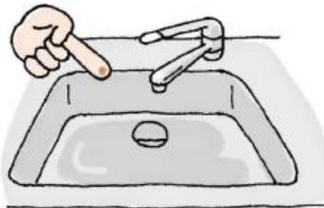


1グラムあたり10億個のノロウイルス
を含むふん便が0.1g汚染すると？



風呂(1m³)の
水に溶けると

約100個/cc



シンク
(50×50×20cm)の
水に溶けると

約2,000個/cc



コップ(100cc)の
水に溶けると

約100万個/cc

(約1,000個/mm³)

10～100個で感染成立:わずかな汚染で
大規模食中毒、感染症を引き起こす

Health Sciences

国立医薬品食品衛生研究所

出典：消費者庁ウェブサイト

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/pdf/risk_commu_norovirus_shiryoku1.pdf

ノロウイルス等に汚染された可能性がある物(場所)を消毒するには
熱又は次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が効果的です。

- 嘔吐物の消毒・・・0.1%
→色つきの物(ペーパータオルや布)、新聞紙を使用する際はたっぷり注ぐ
- 嘔吐物を取り除いた後の床など・・・0.02%
- 処理の際に触った場所(ドアノブなど)・・・0.02%
- 流行時の環境整備・・・0.02%
- 加熱する場合は、85～90℃で60～90秒以上



※家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます(市販されている物では塩素濃度5～6%の物が多いです。使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。)。容器自体の汚染にも注意しましょう。

塩素濃度 **0.1%** (= 1,000ppm)

用途・・・下痢便、吐物、汚れたトイレ・床 など

あなたの施設の 消毒薬(○印を つけてください)	使用する消毒薬 の塩素濃度	作りたい量	消毒薬の量	希釈倍率	備考(消毒薬の量の目安)
	1%	500ml	55ml	10倍	
		1リットル	110ml		
		2リットル	220ml		
		3リットル	330ml		
	5%	500ml	11ml	50倍	ペットボトルのキャップ2杯強
		1リットル	22ml		
		2リットル	44ml		
		3リットル	66ml		
	6%	500ml	8ml	60倍	ペットボトルのキャップ2杯弱
		1リットル	17ml		
		2リットル	33ml		
		3リットル	50ml		

塩素濃度 **0.02%** (= 200ppm)

用途・・・汚物を取り除いたあとの床、手を触れた場所

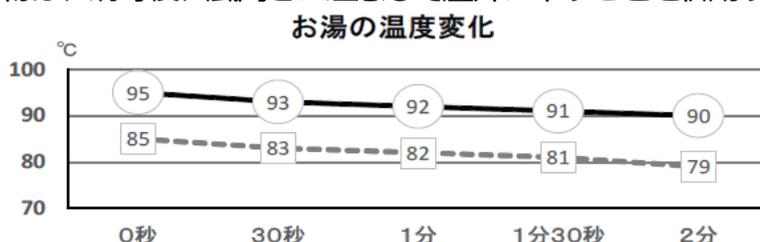
あなたの施設の 消毒薬(○印を つけてください)	使用する消毒薬 の塩素濃度	作りたい量	消毒薬の量	希釈倍率	備考(消毒薬の量の目安)
	1%	500ml	10ml	50倍	ペットボトルのキャップ2杯
		1リットル	20ml		
		2リットル	40ml		
		3リットル	60ml		
	5%	500ml	2ml	250倍	
		1リットル	4ml		ペットボトルのキャップ1杯弱
		2リットル	8ml		
		3リットル	12ml		
	6%	500ml	1.7ml	300倍	
		1リットル	3.4ml		
		2リットル	6.7ml		
		3リットル	10ml		

効果的に消毒するコツと落とし穴

参考：厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A

I 加熱

1. 85～90℃で90秒間加熱すると、ノロウイルスを不活化できるといわれています。
 2. 畳、カーペット、クッション等は深部まで消毒できるように、十分な時間をかけて加熱しましょう（12日以上前にノロウイルスに汚染されたカーペットを通じて、感染が起きた事例も知られています）。
 3. 患者の吐ぶつやふん便は飛び散りやすいので、広い範囲を消毒しましょう。
- ※ 加熱による消毒も活用しましょう。（特に衣類の脱色を恐れ、塩素消毒が不十分になりそうな場合等）
※ 屋外に干せる物は、消毒後、風向きに注意して屋外に干すことを併用するとよい。



熱湯による衣類の消毒
《冬季の実測値》

85度以上を1分以上
保つようにしましょう

II 塩素消毒

<日頃の備え>

1. 消毒薬を作成する容器は、汚れのない物を使うこと。

<いざ！処理する際に>

2. 吐ぶつやふん便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに処理しましょう。
3. 消毒薬を使用するときは、換気に気を付けましょう。
4. 処理する人は、風上に位置して処理を行いましょう。
5. 色がついた物（紙、布）で処理する場合は、消毒液をたっぷり使用しましょう。
6. 一度作った消毒薬の中では、ぞうきんなどをもみ洗いしないこと。

<処理した後は>

7. 廃棄物を入れたビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度約1,000ppm）を入れることが望ましい。
8. 処理後は丁寧に手を洗い、手洗い設備をきれいにしてからうがいをしましょう。服装も着替えましょう。（足の裏、ズボンやタイツ、前髪にもウイルスがついていることがあるので注意）
9. ウイルスが屋外に出て行くよう、空気の流れに注意しながら十分に換気を行いましょう。
10. 廃棄物は速やかに屋外へ。廃棄物を持ち出す際に触れた場所も消毒しましょう。
11. 金属部分は、さび防止のため、10分間作用させた後に水拭きする。

- 施設にあるバケツやペットボトルなどに、あらかじめ容量の表示をしておきましょう。
- 夜間や行事等で職員が少ない時の対応も話し合っておきましょう。
- 職員の健康管理においては、休日中も含め、本人と家族の発症状況を確認しましょう。
- のれん、カーテン、ネームプレートなどにウイルスが付いていることがあるので、注意しましょう。

職員間の分担や必要な物品を確認し、練習（研修）を行いましょう。

<役立つ資料>

ポスター；ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防対策：手洗い・処理・消毒（栃木県感染症情報センター）

<http://www.thec.pref.tochigi.lg.jp/tide/prevent-leaflet/noro.pdf>

動画：ノロウイルス等の食中毒防止のための適切な手洗い（厚生労働省）

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>



検査結果を正しく解釈しましょう。

- 陰性=感度以下であることを示します。(ノロウイルスが陰性ということではない)
- 検出感度と検出できるウイルスの型は、検査方法によって異なります。

感染性胃腸炎と診断された小児の検査結果(県北保健所管内)
2016/17シーズン

		リアルタイムPCR法で行った ノロウイルスの検査結果	
		陽性(+)	陰性(-)
迅速キットの 結果	陽性 (+)	5	0
	陰性 (-)	<u>4</u>	0

迅速キットで陰性となった4例のふん便から、ノロウイルスが見つかりました。

手を洗おう!

- 手はいろいろなことをするので、ウイルスの運び屋となります。
- 正しいタイミングで正しい手洗いを行きましょう
 - トイレの後
 - 嘔吐物処理、おむつ交換の後
 - 食事を作る前、食器をそろえる前
 - 手が顔に近づく前(前髪、目、鼻、口を触るとき、食事の前)
- タオルの共用はやめましょう



《排便後トイレ拭き取り時の手・袖口の汚染》
写真：長野県北信保健福祉事務所

集団生活を送る場合の注意点

- 嘔吐が発生したら、他の人を離し、換気を確保しましょう。
- トイレ介助やおむつ交換の後の手洗い、エプロンの交換などを徹底しましょう。

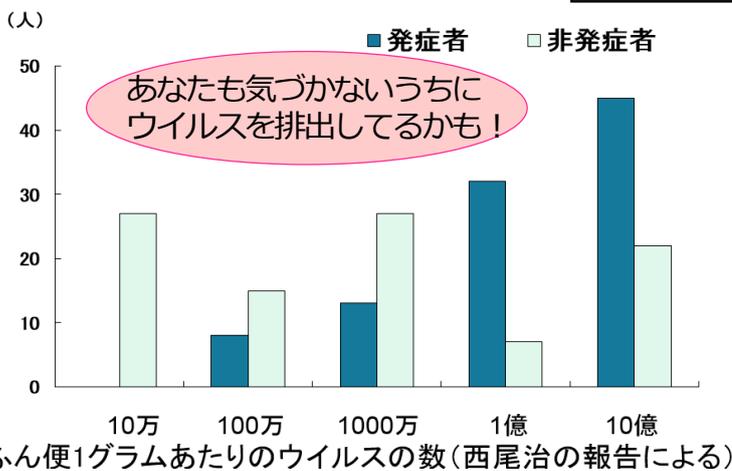
《おむつ交換時拭き取った後の写真》
写真：京都府丹後保健所



汚れがないように見えても・・・



実はこんなところに!



ノロウイルスに感染していても、症状が出ない人もいます。周囲で胃腸炎が流行していたら、特に注意しましょう。

ホームページからダウンロードできます。 [県北健康福祉センター](#) センターからのお知らせ